

3. 読みましょう

CD19

読むときのポイント

「地図A」と「地図B」が作られた理由は何か考えながら読みましょう。

5

地図

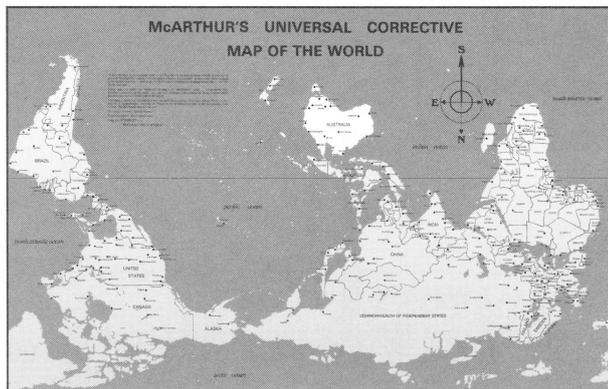
地図Aは、オーストラリアの高校教師マッカーサーが1979年に作った「南北を逆にした世界地図」である。彼は日本留学中に、アメリカ人留学生のかいた世界地図を見て、びっくりした。その地図にはオーストラリアがなかったのだ。人間の目は、観察しようとする面の中央より少し上の方を自然に見るそうである。下の方は努力して見ようとしないと、見えないのだ。南半球にあるオーストラリアは、アメリカ人留学生の意識から忘れられていたのである。そこで、マッカーサーが自分で作って見たのが地図Aである。

地図は普通、北を上にしてかれる。では、なぜ北が上でなければならぬのだろうか。これは地図に経緯度が使われるようになってからの習慣であって、古い地図には南が上のものも多い。

北が上という常識は、実は北半球の国の人々が無意識に持っている差別の表れかもしれない。地図Bは南北を上下ではなく、左右に置いて、作ったものである。これなら、少なくとも、北半球の人々も南半球の人々も文句は言わないだろう。しかし、アフリカと南アメリカはどうだろうか。「位置の平等」は難しい。

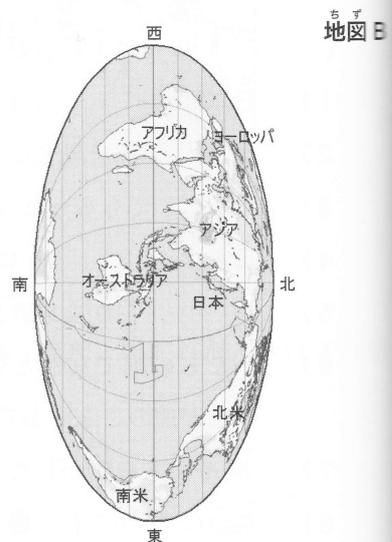
(森田喬『神の眼 鳥の眼 蟻の眼 地図は自分さがしの夢空間』毎日新聞社より、一部を改変して掲載)

68



地図A

(McArthur's Universal Corrective Map of the World. © 1979 Stuart McArthur. Available from www.ODTmaps.com)



地図B

4. 答え

1)

2)

3)

5. チャ

1)

2)